

洋室での上座はどこ？

元JALチーフCAが語る

おもてなし講座



江上いずみ先生

5

今回からはいよいよ「おもてなし」の実践編です。20年

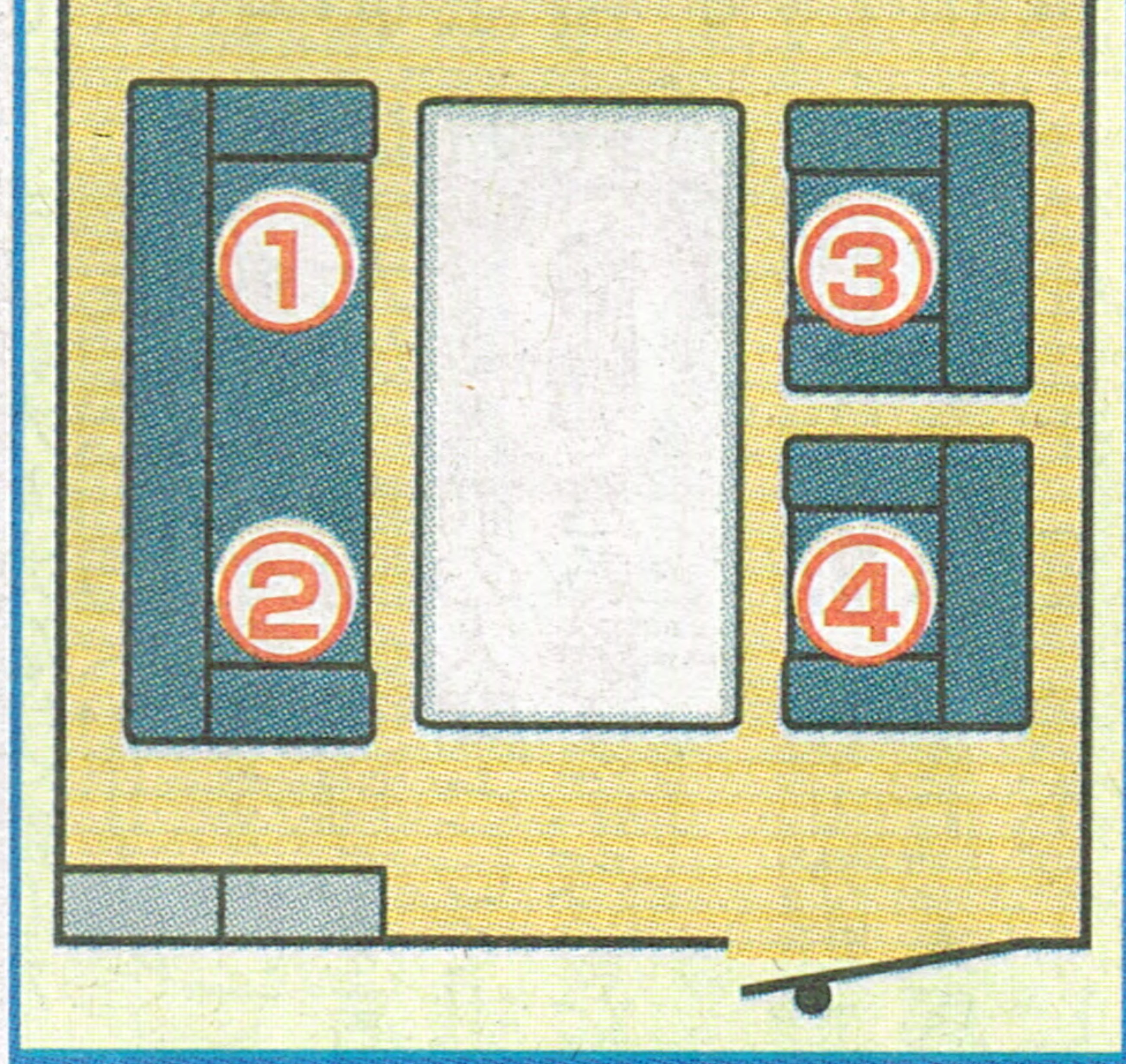
大会では式典や公式行事、国際会議が数多く開催されます。ボランティアとして海外から訪れる政府高官や国際競技連盟の幹部らVIPをお迎えし、おもてなしする場面も予想されます。彼らを応接室などの部屋にご案内する場

今回から実践編「席次」の重要性から

合、大切なのが『席次』です。国際儀礼であるプロトコールには『序列の重要性』という原則があり、国家レベルの式典などでは、序列により並び順や席次が決まるので、きちんとしたルールを覚えておくことが重要です。このルールはふだんの生活でも目上の人や年長者に対する敬意やおもてなしの心を表すために、とても大切なものです。

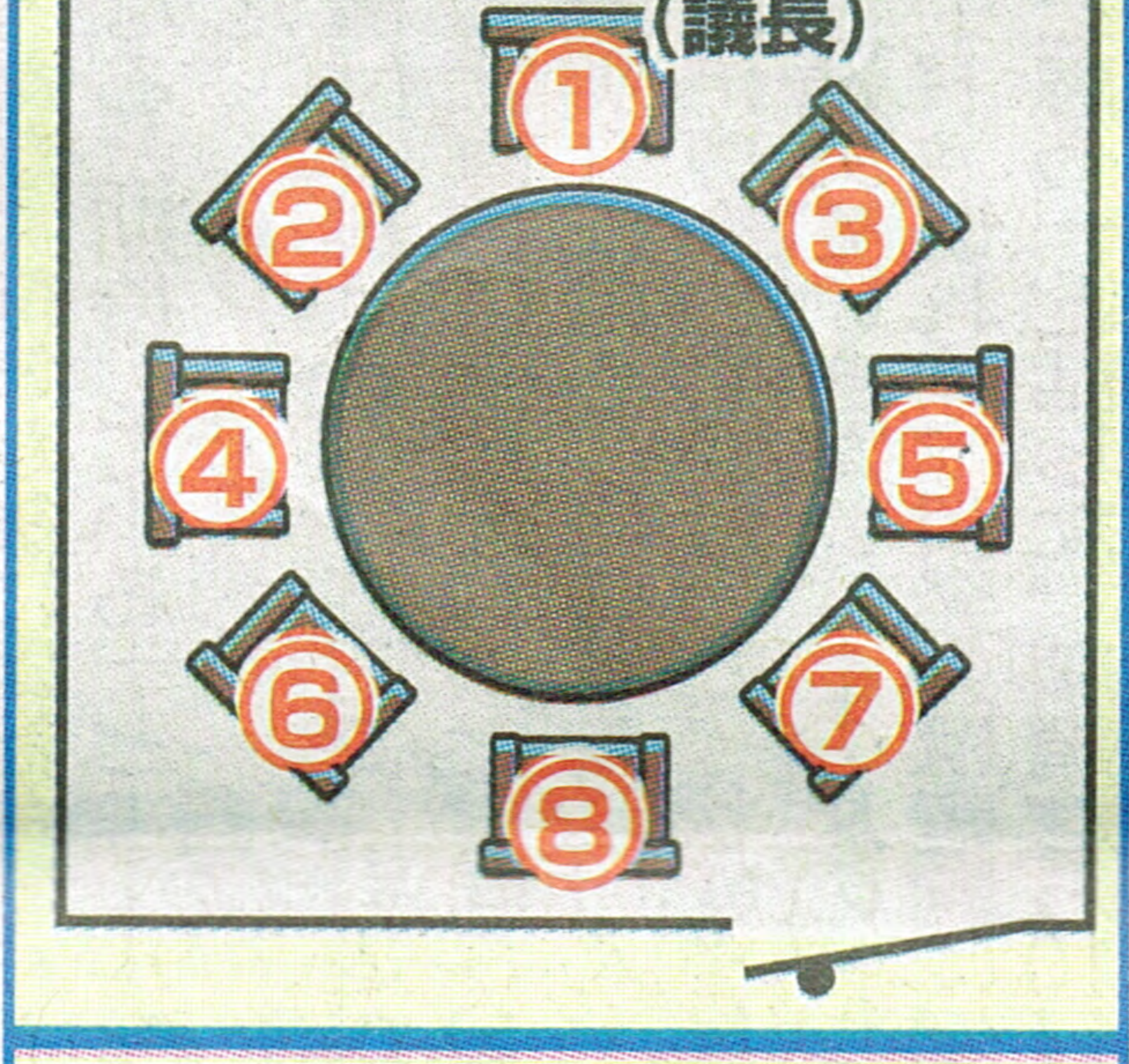
まず西洋では「右側が左側より上座」という「右上位」の考え方があります。また敵から大切な人を守るという考えから、基本的に入出口から遠い方が上座になります。では応接室に長いすのソファと肘掛けがついた1人掛けのいすがあった場合、どちらが上座になるのでしょうか。肘掛けの付いた1人掛けのいすがお客様用に思えますが、実は長いすのソファが上座です。これは古代ローマ時代、貴族はいすに片肘をついて、寝そべってくつろぐ習慣があ

◆応接室(洋室)の席次◆



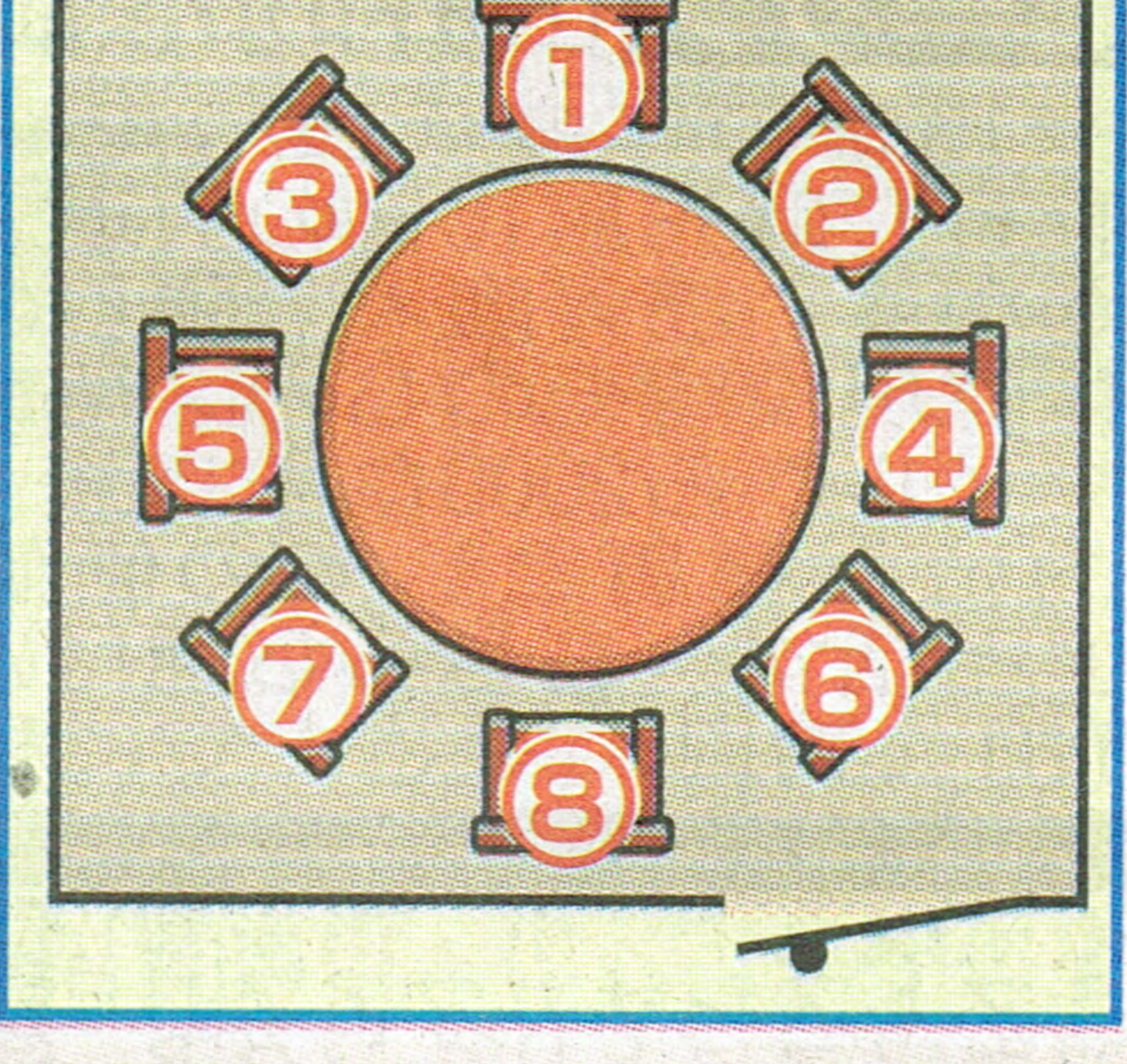
り、客人には長いすに横になってもらい、お酒や食事を振る舞ってもてなしたことがルーツといわれています。会議などの円卓にも席次のルールがあります。まず出入り口から遠い一番奥の席が上座で、最も近い席が下座になります。一番目上の人(議長)

◆会議室(円卓)の席次◆



が上座に座った後は、「右上位」の原則が優先されます。2番の人が1番の右側、3番が左側に座ります。1番により近い方が上座なので、それから順に右↓左と座ります。ちなみに中華料理店での円卓は若干変わります。上座と下座の席は同じですが、上座

◆中華料理店(円卓)の席次◆



から時計回りに回転テーブルの料理を取っていくので、2番の人が1番の左側、3番が右側に座ります。それから順に左↓右と続きます。会議室でも中華料理店でも、原則として主賓が席に着くまで出入り口付近で待つのがマナーといえます。(筑波大客員教授)

◆江上いずみ 慶大法学部卒。JALの客室乗務員として30年間で約1万9000時間乗務。13年にグローバルマナーズプリングス設立。15年から筑波大客員教授。大学や官公庁、企業などで「グローバルマナーとおもてなしの心」などの講演を手がける。